（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	はまなす（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	4名
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安全で伸び伸び過ごせる環境づくり	一人ひとりの特性に合わせて、好きなことや興味を示すことから、個別や集団での活動へ繋げている 状況や場面に合わせて、リハ室兼スヌーズレン室、多目的コーナーやミライエ（地域交流スペース）を活用している	動線を考えたフロアの環境整備 ４Ｓ（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底化
2	緊急時の対応や体制づくり	全職員が救命講習を受けて、緊急時の対応に備えている 法人のBCP研修に参加し、また、事業所でも災害や感染症対策の研修を実施している 保護者、学校、相談支援と情報共有し、緊急時の対応に備えている	子どもたちが消防避難訓練以外の訓練にも参加できる機会を提供する
3	多機能型事業所の強みを生かせる	生活介護の大人たちと季節行事を行うなど、幅広い交流の機会を持つことができるよう支援している 将来、学校卒業後に生活介護などを利用する際、日頃からいろいろな人と関わりを持ち、スムーズに移行できるよう支援する	短期入所などを見据えて、隣接する入所施設（ひのきの杜）との連携を強化する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族等が参加できる研修会などが開催できていない	昨年度の反省から、今年度は段階的に個別面談会の開催はできた。しかしながら、年１回のみの開催だった 日々の支援が優先し、保護者会や研修会の準備まで至らなかった	個別面談会の開催回数を増やす 生活介護と合同で保護者会を開催する 家族も参加できるイベントや研修会を企画する
2	地域との交流の機会が少ない	放課後の時間だけでは短く、地域交流の機会を提供できなかった	長期休みに、地域の子どもたちが集まる公園などに外出し、交流の場をもつ 近くの事業所等と合同での行事等を企画してみる